

同世代の仲間を集めた取り組み

うすき Love to Dementia～認知症に愛を～



大分県臼杵市 臼杵市医師会地域包括支援センターコスモス
認知症地域支援推進員 藤澤 沙樹

本日の報告内容



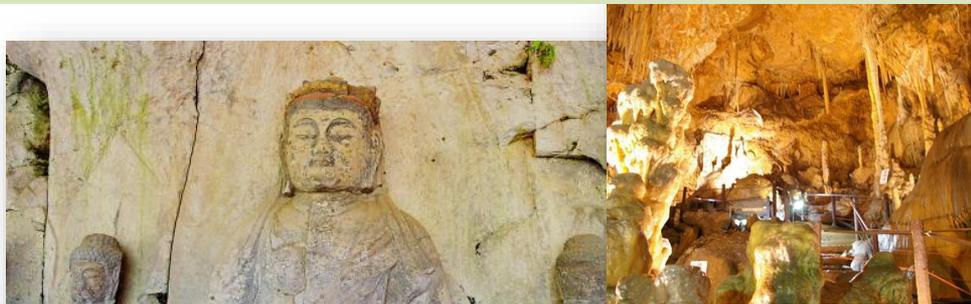
臼杵市のゆるキャラ
赤ねこほっとさん

- 臼杵市の概要と認知症施策
- 取り組みの背景と推進員としての思い
- 本番までの歩み
- 当日の様子
- その後の活動の様子と推進員活動における課題

臼杵市は “歴史” と “食” と “観光” の町

面積：291.08平方キロメートル

主要産業：醸造業、造船業、漁業



臼杵市



臼杵市の高齢化の現状

(住民基本台帳より)

人口	38,589 人
男性	18,389人
女性	20,200人
高齢者人口 	15,147人
高齢化率	39.25 %
日常生活圏域	1圏域
包括支援センター	1ヶ所
認知症地域支援推進員	1名



(平成30年5月1日時点)

市から求められている推進員の役割

認知症になっても安心して地域
で暮らせるよう、認知症施策を
円滑かつ効果的に実施するため
に推進員を配置する



臼杵市が推進する認知症対策 4つの柱

- I 認知症の正しい知識の普及啓発
- II 認知症の早期発見と早期診療ができるための体制づくり
- III 認知症の方を介護している家族への支援
- IV 認知症支援ネットワークの構築

推進員は
旗振り役



認知症地域支援推進員（保健師）

認知症に係る専門知識と経験を有する専門職

平成27年4月～活動

認知症施策 全体像

大分大学との連携

臼杵市医師会との連携



- ・なるほど認知症講座
- ・認知症フォーラム
- ・認知症サポーター養成講座 等

- ・認知症を考える会
- ・認知症初期集中支援チーム 等



普及啓発

高齢者支援課

早期発見
早期診療



- ・徘徊模擬訓練

協働



ネットワーク
構築



推進員

家族支援



- ・多職種事例検討会
- ・臼杵市高齢者等 SOS ネットワーク 等

- ・介護者の集い
 - ・認知症ケアパス
 - ・オレンジカフェ 等
- 認知症の人と
家族の会



消防、民間企業など多機関連携

若い世代への認知症普及啓発実行委員会主催イベント

認知症で

人生終わりになんて、
僕がさせない。

～認知症に愛を～

うすき

I Dove to Dementia

ラブ トゥー ディメンシア

映画

鑑賞**無料**

(4回上映)



飲食店

小さなお子さんも

学生も大人も

みんなが楽しめる

イベント盛りだくさん♪

ワーク
ショップ

こども
縁日

屋外
ステージ
イベント

託児あり

スタンプラリーで
特典ゲット!

平成30年5月20日(日) 10:00~16:00 臼杵市中央公民館

【後援】 臼杵市・臼杵市医師会
大分県認知症疾患医療センター(白川病院)
臼津歯科医師会・臼津薬剤師会・臼杵市の認知症を考える会

【問い合わせ先】 事務局(地域包括支援センター内) (0972) 63-6250

フェイスブックで
詳しい情報発信中



開催のきっかけは、
推進員として感じてきた課題・・・



認知症についての施策は
色々試しているけど、
結局集まるのは高齢者ばかり

若い人たちに、
もっと認知症の事を
知ってほしい！



若い世代に関心を持ってもらう為にはどうしたらいい？

初めて聞くこと、びっくりする事が
たくさんありました。
私たちが支えれば、一緒に暮らせる。
今、私の周りに認知症の人はいないけど、
これからおじいちゃん、おばあちゃんを
支えていきたいです。



(中学2年生 女子)



こうゆう講座があること自体を知らなかった。
日常で、認知症についての情報に触れる事が無い。
今日、知る事ができてよかった。
早いうちから知っておくことが大切だと思う。

(30代 男性 経営者)

必要なのは「きっかけ」と「動機」

- 若い世代でも関心を持てるような内容
- 同世代を巻き込みたい
- 受け手ではなく「一緒に」

映画「ケアニン」 自主上映



映画上映を軸に
若い人が「行きたい！」と
思うようなイベントを
開催できないかな？

まずは仲間を作ろう！

地域で活発に活動する友人たちに協力を依頼

商工会議所青年部会長

青年会議所（JC）メンバー
兼、施設管理者



H29年10月末 準備会の開催

スタートは
わずか4人！



これまでの経緯や推進員としての考え、
このイベントの中で行いたい事を伝えた。



推進員としての思い

- 行政でも推進員でもなく、**住民主体**で取り組みたい。
- 行政の**補助金は受けない**。
- 1回だけの開催ではなく、**恒例イベント**にしたい。
- 終了後も**次の活動**に繋がりたい。
- **準備の段階から**すでに**普及啓発**は始まっている。

「正直、認知症についてはよく分からないけど、必要な事だとは思う。出来る事があるなら協力する」



この言葉に衝撃！

それはそちら側（介護医療従事者）の感覚。高齢者や認知症に関わりのない若い世代が、「認知症」をテーマにした映画に、自分で**お金を出してまで見に来るとは思えない。自分なら行かない。**

本当に若い人に来て欲しいと思うなら「無料」でないと人は集まらない。



無料上映を目指す！

イベントをするなら、更にお金が必要

協賛金を募る事に！



若い世代への認知症普及啓発実行委員会

の立ち上げ

推進員の立場は「事務局」



規約作成

若い世代への認知症普及啓発実行委員会 規約

(趣旨)
第1条 この規約は、若い世代への認知症普及啓発実行委員会(以下「実行委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)
第2条 実行委員会は、次に掲げる事項を企画・検討する。
(1) 認知症普及啓発に関するイベントの企画・運営に関する事項
(2) 前号に掲げる事項を推進するために必要があると認められる事項

(組織)
第3条 実行委員会は次の役員を置き、執行部とする。
(1) 委員長1名
(2) 副委員長2名
(3) 会計1名
(4) 監事2名

2 実行委員会の委員は、次に掲げる者をもって組織する。
(1) 各種団体(企業・任意団体含む)
(2) 地域住民
(3) 認知症キャラバンメイト、認知症サポーター
(4) 前3号に掲げる者のほか、実行委員長が指定する者

(専門部会)
第4条 実行委員会の中に以下の専門部会を設置する。
(1) 認知症啓発部会
認知症啓発に関する企画の調整、取りまとめを行う。
(2) 広報部会
認知症普及啓発の取り組みに関する広報活動を行う。
(3) イベント部会
認知症普及啓発の取り組みの中で開催される催しの企画、調整、取りまとめ及び運営を行う。

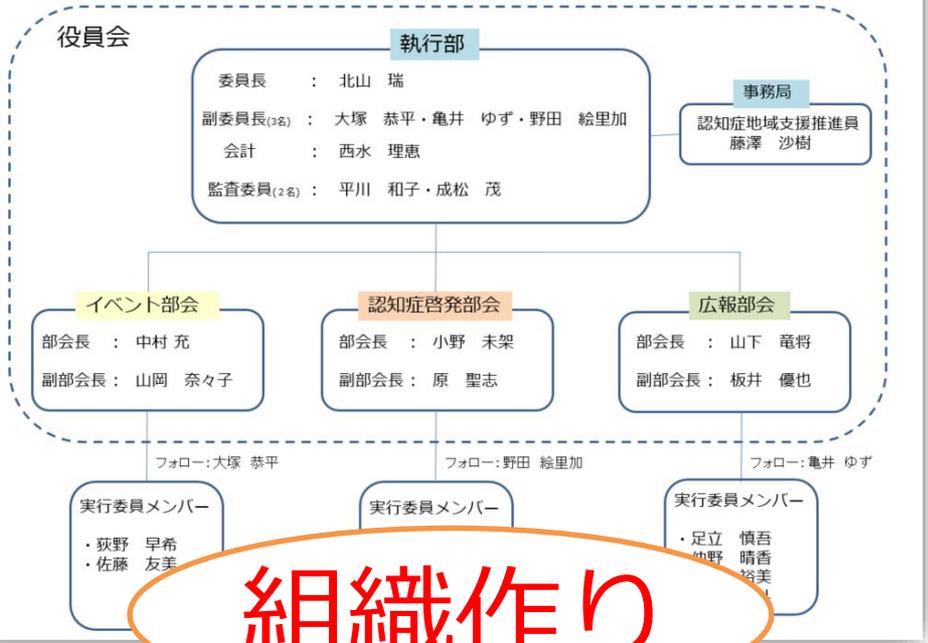
(役員及び委員の任務)
第5条 第3条に掲げる執行部と第4条に規定する部会長からなる役員会を置く。
(1) 委員長及び副委員長は、委員会の総会で対議し互選により定める。
(2) 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
(3) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
(4) 副委員長2人をそれぞれ各団体調整、専門部会統括担当とし、委員会の進行や会議の調整・取りまとめを行なう。
(5) 会計は、委員会の経理事務を行う。
(6) 監事は、認知症普及啓発に関するイベント等の開催後に会計処理が適正に行なわれているかを会計監査し、必要に応じ委員会に対して指導・勧告を行なう。
(7) 委員長及び副委員長の任期は原則1年間とするが、委員会総会において対議の結果、過半数の承認を得られた場合、翌年も継続することを認める。

(会議)
第6条 実行委員会の会議は委員長が招集し、議長となる。
(1) 役員会、専門部会、全体会議をそれぞれ必要に応じて随時開催し、認知症普及啓発に関するイベント等の当日までに部会長を中心に各部会で十分に話し合う。その後、部会毎の意見を集約し役員会で討議し、本審に向けての準備を整える。

(事務局)
第7条 実行委員会の事務局は、地域包括支援センター(認知症地域支援推進員)に置き、主に下記の業務を担う。
(1) 実行委員会全体の調整事務
(2) 会場確保・施設使用などの許認可申請等の事務
(3) 交通対策・駐車場の確保など警察や公共交通機関との調整事務
(4) その他、認知症普及啓発に関連し、実行委員会によって必要と認められる事項

(会計年度)
第8条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第1回 認知症普及啓発イベント(仮) 実行委員会 組織図



組織作り

ULDイベントは、この実行委員会の活動の一つとして位置付け
企画書、内容案を作成

後援

団体名	内容
臼杵市	会場確保（使用料免除）、広報への協力
臼杵市医師会	各会の会長を通じて、会員へ協賛金の協力依頼およびイベント広報
臼津歯科医師会	
臼津薬剤師会	
大分県認知症疾患医療センター	協賛金への協力、パネル展示協力
臼杵市の認知症を考える会	広報およびイベント終了後の継続的な普及啓発への協力

協力

団体名	協力内容
商工会議所青年部会	ステージおよび会場設営
臼杵高校ユネスコ部	当日ボランティア
地域包括支援センター	当日ボランティア



協賛金・協賛物品のお願い

医師会関連

- ・ 協賛金依頼文書
- ・ イベントのちらし
- ・ 映画のちらし
- ・ イベント企画書
- ・ イベント内容案
- ・ 協賛承諾書

製薬会社や銀行、地元企業など

- ・ イベントのちらし
- ・ 映画のちらし
- ・ イベント企画書
- ・ イベント内容案
- ・ 物品提供依頼書
- ・ 寄付趣意書
- ・ 情報公開に関する同意書
- ・ 実行委員会規約
- ・ 実行委員役員名簿
- ・ 実行委員会の組織図

大変だけど
ここは大切



実行委員長と共に実際に出向き、趣旨説明やお願いに回った。

➡ これも一つの普及啓発！

その結果 . . .

医師会関係	28医院
歯科医師会	14医院
薬剤師会	12店舗
その他	5事業所

協賛金総額

820,000円



映画無料化が実現！

計**59**の団体が協賛金に協力。

その他、**12**の企業が物品や資料を提供。

若い世代へこの取り組みを知ってもらう為の
「**きっかけ**」を作る事ができた。

H29年12月初旬 第1回 ULD実行委員会を開催



この時集まったメンバーは**12名**

人から人へ...

この過程もまた、ひとつの**普及啓発**

企画書や内容案を元に
メンバーが個別に呼びかけ。
実行委員会を重ねる事に
仲間が増えていく。

映画上映以外のイベントについての内容<案> *内容については今後、各部会ごとに企画内容を検討していく。

担当部会	企画案	内容
認知症普及啓発部会	出張オレンジカフェの開催	・市老健女性委員会ボランティアの協力のもと「ほっとオレンジカフェ」を開催 →高齢者の社会参加にもつながる。 ・映画鑑賞者は無料参加などの特典をつける。→認知症カフェの広げに繋がる。
	タッチパネルの設置	・実際に触れて体験してもらう。
	グループホーム(認知症対応型共同生活介護) 入居者による制作作品の展示、販売	・市内のグループホームへ、イベントで販売できるように制作作品を提案 ・制作の様子や、日頃の活動の様子がわかるようなパネル展示 →施設での様子を知ってもらう事で、入所に対するマイナスイメージの払拭や、認知症になってもまだまだできる事が山にあることを知ってもらいたい。また、この取り組みが認知症支援の役割付け、社会参加につながる。
	認知症川柳の募集	・日梓市長への啓発として、認知症への偏見をなくすることをテーマに川柳を募集入選作品は機やポスター等にして、『認知症にやさしい町(村)』やサポート一冊を完成させた認知症にやさしい町(村)に贈呈してもらう。 ・過去にキッズサポーター、ジュニアサポーター育成を卒業した学生が、川柳にも参加してもらえよう。 ・学校側に働きかけを行う。子供たちの参加により、親世代・祖父母世代の認知症への理解を深める。 ・入選者については、平成30年11月18日(日)に開催される『日梓市認知症フォーラム』で表彰してはどうか? →認知症フォーラムも若い世代の参加者が少ないことが課題となっている。子供が表彰されれば親も参加し、学校の広報誌等でさらに啓発効果も期待できる。
イベント部会	スケッチブックリレー	・今後の普及啓発に向けて、イベント参加者に、参加して感じた事や、認知症の人やその家族に向けた言葉、認知症の人にやさしい地域をつくるために、自分たちができる事等、テーマに沿ってメッセージをスケッチブックに書いてもらい写真を撮る。写真をつなぎ合わせて一つの動画を作る。
	日梓市の認知症の取り組みについてパネル展示・DVD上映等	・認知症映画鑑賞やキッズ・ジュニアサポーター養成講座等の様子をおまめDVDを製作する。
	ことば広場	・小中学生が来てもらえるように遊べるブースを設置
イベント部会	飲食コーナー	・市内の飲食店に出張依頼。ただし、「出店料」は徴収しない。 ・商品販売時に、認知症の普及啓発に向けたチラシを配布してもらう。
	子供、学生によるステージイベント	

企画書・内容案

...を越える超高齢化社会となり、認知症の問題も深刻化している。『認知症高齢者等にやさしい地域づくり』を進めるため、これまで日梓市では認知症フォーラムの開催、なるほ認知症講座など市民への様々な啓発活動の他、認知症サポーターを6000名以上養成し、近年ではキッズサポーター、ジュニアサポーターの養成にも積極的に取り組むなど、多世代への働きかけを目指してきた。しかしその中で共通して見えてきたのが『20歳～50歳の働き盛りの年代の参加者が少ない、普及啓発が進まない』という課題である。このイベントは、企画段階から働く世代の一般市民と共に話し合い、専門職と市民が協働で作り上げていくことで、認知症に対する理解を深め、市民の目線で働く世代の認知症に対する興味関心を高め、普及啓発を促進することを目的とする。

<イベント内容>・映画「ケアニク ～あなたでよかった～」上映(上映時間105分)
・出張オレンジカフェの開催、タッチパネル設置
・出店、ワークショップ、ステージイベント 等
*他、イベント内容については今後実行委員会にて協議予定。案については裏面参照。

<日時> 平成30年5月20日(日) 10:00 ～ 18:00(映画の最終上映時刻)
*イベントは16時終了予定

<会場> 日梓市中央公民館および駐車場

<対象者> 一般市民、学生、介護・福祉関係者、認知症や介護に関心がある方

<主催> 若い世代への認知症普及啓発実行委員会

<後援> 日梓市
日梓市医師会
大分県認知症疾患医療センター(白川病院)
日津薬科医師会
日津薬附研会
日梓市の認知症を考える会

<定員> 500人

<映画チケット無料化に向けて協賛を募集。>

<イベント問い合わせ先>事務局:日梓市医師会地域包括支援センターコスモス
0972-63-6250 (担当:藤澤・西水)

<映画「ケアニク」公式サイト> <http://www.kenic.jp/>

集まった実行委員メンバーは25名。



メンバーは多種多様

リハビリ職、看護師、保健師
ケアマネ、介護系職員
商工会議所青年部所属
青年会議所所属、呉服屋の若旦那
元地域おこし隊、会社員、経営者
市職員（個人として参加）
主婦…など



- ・事前チラシの作成、配布
- ・看板、のぼり等の作成
- ・チケット作成
- ・その他、広報全般 …等

イベント部会

- ・ステージイベント
- ・出店、ワークショップ
- ・こども縁日 …等

普及啓発部会

- ・認知症関連施設のパネル展示
- ・認知症クイズスタンプラリー
- ・認知症劇の手配 …等

部会に分かれて話し合い

実行委員のメンバーにサポーター養成講座を実施



臼杵市でこんな認知症の取り組みが
あっている事を、知ってる？

そんな取り組み自体あってる事を知らなかった。
認知症について知る事は大切だと思うけど、きっかけが無い。



取り組みを始めてからのメンバーの言葉

- こんなお客さんが来て、困った事がある。
- 実は祖父が認知症みたいで…
- 亡くなった祖母が認知症だった。
もっと早く学んでいたら…と思った。

準備の段階から普及啓発は始まっている

5月15日（火） Love to Dementia 開催5日前

ジュニアサポーター養成講座を実施



2年生全員が屋外ステージで
合唱を披露してくれる予定



臼杵市立北中学校
全校207名



学びが深まるように、イベントの直前にしましょう！

H30年2~3月 チラシ第1弾を配布(両面)

市内商業施設、協賛・後援団体へのポスター・チラシ配布

H30年5月 チラシ第2弾

教育委員会を通じて
学生へのチラシ配布

私たちはこれから必ず
認知症の問題と向き合うことになります

これからを担う
若い世代にこそ
認知症について学び
考えてほしい

市内の小中学生
1400名へ
2度のチラシ配布

H30年4月 包括の季刊紙「ほうかつ便り」を利用
市報の折込みで全戸配布(両面)

地元ケーブルテレビ
生出演とその後も再放送



- その他...
- Facebookの開設
 - 市報への広告掲載
 - 講座、会議等での告知
 - 新聞の無料掲載

あらゆる手段を使い、早い時期から、繰り返し広報し続けた

屋外ステージイベント

子供たちによるステージイベントを依頼することで、
学生やその保護者のイベント参加を促す。

100名以上の学生が参加



中学生による合唱



中学生によるブラスバンド



高校生ボランティア



リハビリ専門職による
認知症予防体操



親子ダンス
乳幼児を持つママ達も参加



認知症劇 劇団「希望」



屋外の来場者の様子

多世代が楽しめる工夫
をしました



託児室が好評でした



クイズに答えて
スタンプGETで
がらポンに挑戦!



サポーターの中学生のクイズ正解率が高い!

1等!
おめでとう



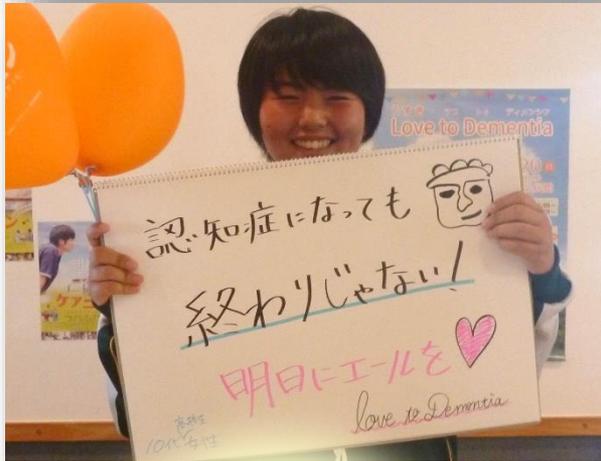
そして…イベントをただのイベントとして終わらせないために…

若い世代の**想**いを多くの人へ**伝**えたい

スケッチブックリレー

イベント終了後も
普及啓発を続けるために…

メッセージをスケッチブックに
書いて次の人次の人へと
リレー形式で渡していき
それを編集して1本の映像を作る



約**130**名の方が
メッセージを
書いてくれました

実際の映像をご覧ください



うすき Love to Dementia

～認知症に愛を～

終了後の実行委員メンバーの活動の様子



臼杵市認知症フォーラムでの共催

サポーターの小・中学生による「認知症 五・七・五」の展示



会場設営や
飾りつけも
全部自分達で

仕事の合い間をぬっての作業

約250名の子ども達が考えてくれました

グループホームを中心としたパネル展示

その他にも・・・

- ・ 臼杵市の認知症施策の取り組み
- ・ 認知症地域支援推進員の活動の様子
- ・ 認知症初期集中支援チームの活動について
- ・ 認知症の基礎知識
- ・ 社会福祉協議会の安心サポートや市民成年後見制度

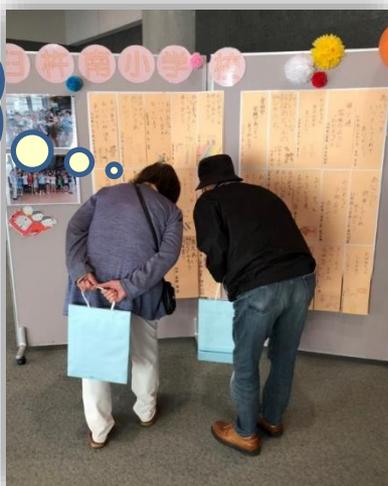


フォーラム当日の様子

スケッチブックリレーのDVD上映



孫の作品
を発見!



「認知症 五・七・五」の展示

困ったら 頼れる若者 そばにいる

忘れられ つらい日々でも ありがとう

話そうよ 忘れないための 第一歩

大丈夫 いつでもどこでも 助けるよ



「知ろう」「学ぼう」「広げよう」とい意識の芽生え

商工会議所青年部からのサポーター養成講座の依頼



(会長のあいさつ)
認知症の問題は
これから必ず僕たちも
直面する事になる。
今のうちから学んで
おく事が大切だと思う。

認知症高齢者等徘徊模擬訓練への参加



事前のミニレクチャーや
行方不明者の聞き取りの様子



程よい距離と目線を合わせて
本人のペースに合わせて話す



地域住民に混じり感想発表
もしっかりしてくれました。

認知症多職種事例検討会への参加

この日は「若年性認知症」の方の事例をもとに
地域で支えることをワールドカフェの手法で検討しました



実行委員長



＜参加者の職種＞

医師・歯科医師・看護師・保健師・薬剤師
社会福祉士・理学療法士・作業療法士
ヘルパー・中部保健所所長・ケアマジヤー
介護福祉士・生活相談員・福祉用具専門員
行政職員・包括職員・警察・大分銀行
若い世代への認知症普及啓発実行委員

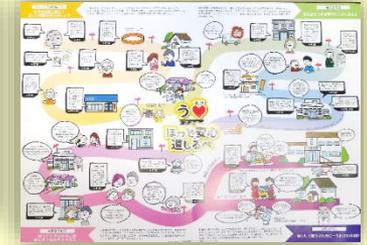
これまで、介護や医療の世界とは無縁だった
一般の若い世代が参加したことは大きな一歩

推進員としての活動の課題

ボランティアの育成

- 市民への継続的な普及啓発活動
- 認知症サポーターのスキルアップ
- キャラバンメイトの育成とその活用

- ・スキルアップ研修の開催
- ・認知症ケアパスの活用



若年性認知症の本人や家族の支援

- 医療との連携による早期支援体制の構築
- 本人や介護者（特にダブルケラーの問題）の居場所作り

ボランティアや
キャラバンメイト
の活動の場

多岐にわたる推進員活動の担い手不足

- 定期的に行う事業のマニュアル作成
- 後輩推進員の育成



ご静聴ありがとうございました



若い世代への認知症普及啓発実行委員会